あんから ペディシート 浴室リフォーム工法(床面施工) 住宅用

施工説明書

このたびは、フクビ「**浴室リフォーム工法**(床面施工)」をお買い上げくださいまして有難うございました。
下記の施工説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

⚠注意　下地に関して

●この浴室リフォーム工法は、躯体への漏水を防ぐことを目的とするものではありません。
●**対応下地：**タイル、FRP
●床面から躯体への漏水がないか確認してください。漏水がある場合は補修を行い、このリフォーム工法の施工前に漏水がないようにしてください。
●下地の乾燥度は施工上もっとも重要です。床面の乾燥は施工前に充分に行ってください。
●表面強度が強く、床面が汚れていない事が必要です。
●タイルが割れているなどの下地の状態が悪い場合には、下地調整材で下地の調整を行ってください。下地調整材使用の際は、その施工説明書に沿って使用ください。
●下地の水勾配は排水口に向かい2／100~3／100に調整してください。

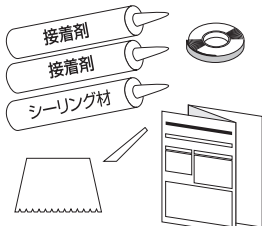
⚠注意　施工できない下地

●モルタルおよびコンクリートの床には施工できません。
●防水が確保できない床面には、施工できません。
●排水口廻りの水勾配が1/30以上の場合は施工できません。
●腐食している床には施工できません。
●1,800×2,000mm以上のサイズの床面には使用できません。

⚠注意　施工に関して

●必ず専用接着剤をご使用ください。
●施工の前には接着剤容器記載の注意をよく読んで安全に取り扱ってください。
●下地の状態(目地が深いなど)によっては接着剤の使用量が多くなることがあります。
●施工時の温度条件に関して、気温の低い条件では接着剤やシーリング材の硬化に時間がかかりますので、室温を上げて施工を行ってください。
●シート裏面へ水が浸透しないよう末端処理やシーリング処理は確実な施工を実施してください。
●施工説明書を参照の上で施工を実施してください。
●**5℃以下**では施工を実施しないでください。

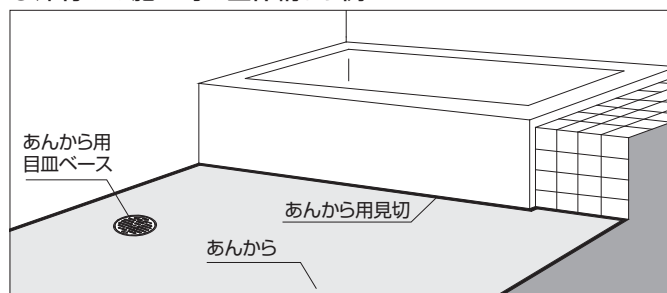
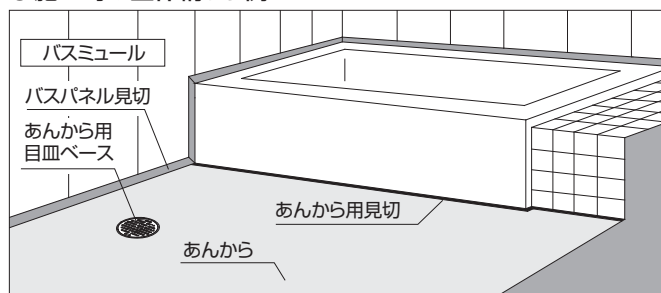
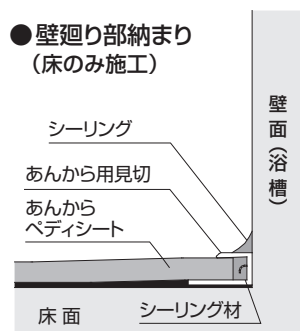
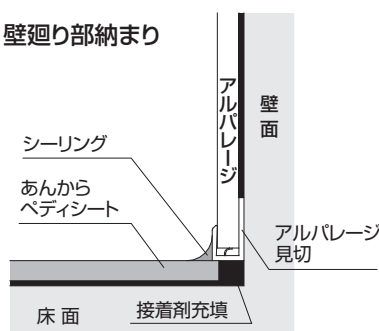
■浴室床専用接着剤セット(別売)内容

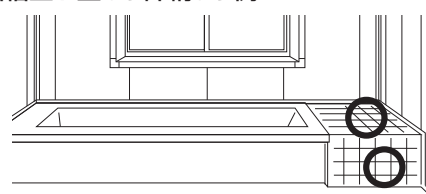
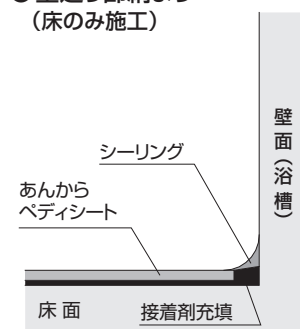
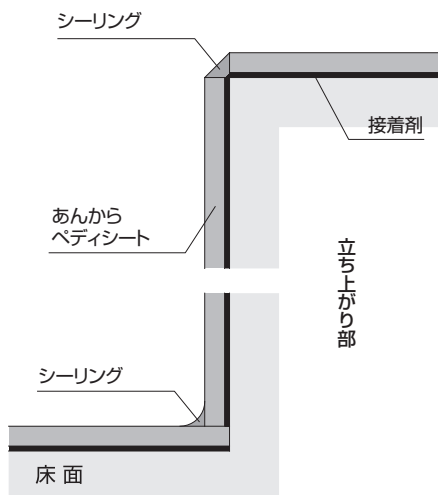
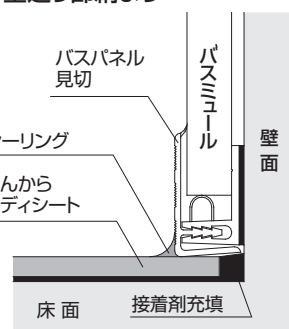
部　材	数　量
接着剤(フクビボンド 浴室水廻り用) 容量：333ml	2本
シーリング材	1本
くし目ゴテ	1本
プラスチックベラ	1枚
マスキングテープ	1巻
施工説明書	1部
取扱説明書	1部

■部材の名称

部　材	形　状	規　格
本体 あんから	厚み:4mm	1,800×2,000 mm
または 本体 ペディシート	厚み:2mm	1,820×2,000 mm

部　材	形　状	規格･梱包
あんから用見切 ※あんから用		2,450mm
あんから用 小口隠し見切R ※あんから用		2,000mm
あんから用 目皿ベース ※あんから用		―
目皿(現地調達) ※あんから 目皿ベース用	Φ105mm、厚み2.0~3.0mmを用意してください。	―

■各部の参考納まり図

●床材のみ施工時の全体納まり例

●施工時の全体納まり例

●壁廻り部納まり
（床のみ施工）

●壁廻り部納まり

●浴槽立ち上がり部納まり例

●壁廻り部納まり
（床のみ施工）

●壁廻り部納まり

※シーリングを現地調達する場合には防カビ剤入り変成シリコーンを使用してください。

⚠注意 ●本シートは床面専用のため、立ち上がり部に使用すると、角部上面に水が溜まる恐れがあります。

●排水口廻り納まり（円型）

あんから専用部材納まり

●排水口廻り納まり（円型）

■施工の流れ

事前準備
- 下地の確認
- 壁や天井の清掃
- 照明・カラン外し

床面施工
- 床面の型取り・シート裁断
- 床シートの接着
- 床面の養生

壁面施工
- 見切用のメス型の貼り付け
- 本体パネルの取付け
- マルチユース窓枠カバーの取付け
- 納め部材オス型の差し込み

天井面施工
- 天井下地を作る
- 廻り縁用メス型の取付け
- 本体パネルの取付け
- 廻り縁用オス型の取付け

隙間シーリング仕上げ

壁面・天井面施工はバスミュールリフォーム工法用説明書参照

事前準備

※事前準備は施工の前日までに終了してください。

①下地の確認

②床下地の清掃

床面施工

1 床面の型取り・シート裁断

1-1. 専用部材のカット（あんからのみ）

1-2. 床面の型取り

1-3. 床シートの裁断

1-4. 床シートの仮置き

2 床シートの接着

2-1. 接着剤塗布前の準備

2-2. あんから用目皿ベース取付け（あんからのみ）

2-3. 床面への接着剤塗布

2-4. 貼付可能時間の厳守

2-5. 床面への圧着

2-6. シーリング処理

3 床面の養生

■使用工具一覧

- ●カートリッジガン
- ●カッター
- ●採寸用スケール・金尺
- ●床用ローラー
- ●くし目ゴテ（付属品）

事前準備 ①下地の確認と準備をする。

施工の前に以下を確認し、必要に応じて補修を完了させてください。

●水漏れの確認⇒ 床から躯体への水漏れがないか確認してください。

●床の凹凸の確認⇒ 床面に水溜りが出来るような凹みなど、大きな凹凸がないか確認してください。

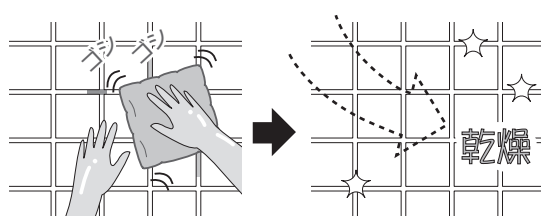
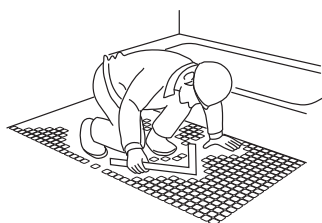
●下地の確認⇒ タイルが割れている、目地が深いなど下地の状態が悪い場合には、下地調整材などで下地の調整を行ってください。

②床下地の清掃

●浴室用中性洗剤で汚れを丁寧に洗い落とし、カビが発生している部分はカビ除去用の専用洗剤で取り除いてください。

※汚れたままでは、接着剤の接着力が充分発揮できません。

※清掃後は施工面を完全に乾燥させてください。
施工時に万が一濡れている箇所があれば、タオルやドライヤーなどを用いて乾燥させてください。

※冬季や寒冷地では、乾燥時間を多く取る必要があります。

1 床面の型取り・シート裁断

1-1. 専用部材のカット（あんからのみ）

①専用部材のカット

●見切材を使用する場合にはシートの型取りをする前に床面の大きさに合わせてカットしてください。

1-2. 床面の型取り

①浴室床面全体に型紙を敷く

●型紙には収縮の少ない紙の使用をお勧めします。
●型紙の継ぎ目は、粘着テープなどにより完全に固定してください。

②型紙が動かないように床面に固定する

●各角や隅角部も型紙が動かないように、粘着テープで床に仮止めします。

③排水口の寸法と位置出し

コンパス等を使用して排水口の位置を出します。

●あんから用目皿ベースを使用する場合
既存排水口の中心出しを行い、あんから用目皿ベースの開口（φ120mm）の縁取りをしてください。

●あんから用小口隠し見切Rで角型排水口を納める場合
排水口の型は排水溝の縁の外周の外側6mmの位置で取ってください。

●三角シーリングで目皿周りを納める場合
排水口の型は排水口の縁の外周で取ってください。

⚠注意 ●あんから用目皿ベースを使用する場合、既存の排水口の上にかぶせるようにして、新規に目皿を設置します。既存の排水口に設置してある目皿のサイズがφ100mm未満であることを事前に確認してください。100mm以上ある場合には既存の排水口の目皿が取り外せなくなる可能性があります。

④シート外周部の型取り

●シート外周部をあんから用見切で納める場合には、壁際から3mm程度小さくなるように型取りを行ってください。
●壁面化粧パネルも施工する場合または三角シーリングで外周部を納める場合には、壁際から5mm程度小さくなるように型取りを行ってください。
●排水溝部をあんから用小口隠し見切Rで納める場合には、排水溝手前の縁から6mm程度小さくなるように型取りを行ってください。

1-3. 床シートの裁断

①事前に裁断した型紙の型を床シートに写す

●床シート裏面に型を写します。型紙の表裏に注意してください。

②裁断する

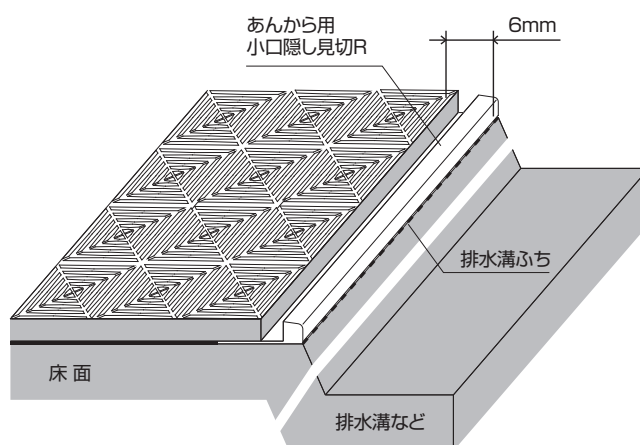
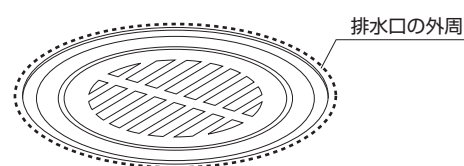
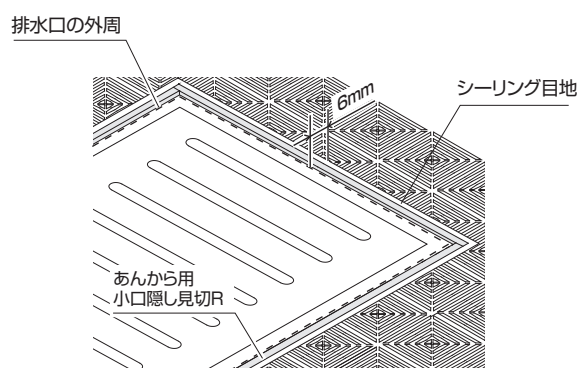
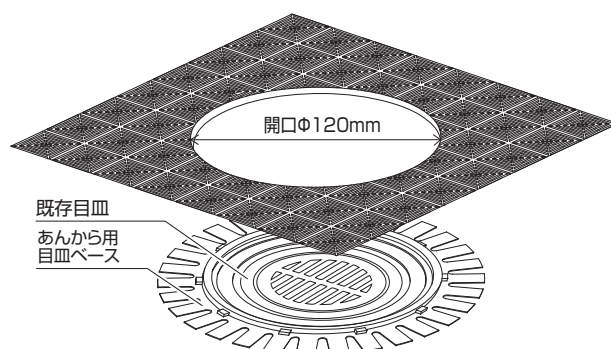
●床シートには深いエンボスがあります。
●2〜3回のカットで正確に切り込んでください。

1-4. 床シートの仮置き

①巻き癖を取る

●平坦な乾燥した場所に広げてください。
●冬季や寒冷地など気温の低い条件では、巻き癖が戻るのに時間を要するので、室温を高くするなどの対処が必要です。

⚠注意 ●巻き癖を伸ばして施工を実施してください。巻き癖が浮きや剥がれの原因になります。必ず、巻き癖を取って施工してください。

■施工手順-2

2 床シートの接着

2-1. 接着剤塗布前の準備

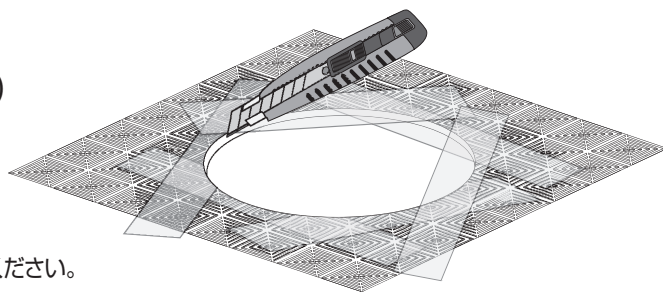
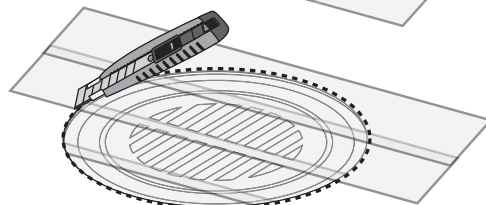
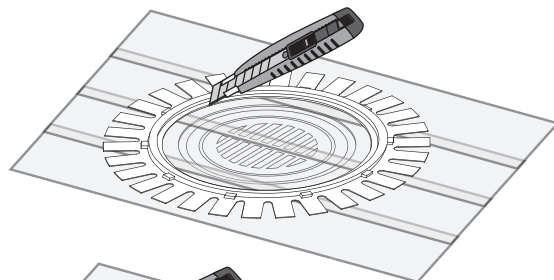
①排水口目皿の養生

シーリングの際に、接着剤が既存排水口部材に付着しないようにあらかじめ養生します。

●あんから用目皿ベースを使用する場合（あんからのみ）
マスキングを排水口周辺に貼り付け、あんから用目皿ベースをガイドにして、マスキングの不要な部分をカットしてください。

●三角シーリングで納める場合
マスキングを貼り付け、排水目皿の形に合わせてカットします。

②床シートの養生

●接着剤がシートに付着しないように、あらかじめ養生します。
●床シートの表面から、養生テープを穴部分を開口部縁に沿って貼ります。
マスキングの開口部よりはみ出た部分をカットしてください。
この際、シート表面を傷付けないように注意してください。

2-2. あんから用目皿ベースの取り付け（あんからのみ）

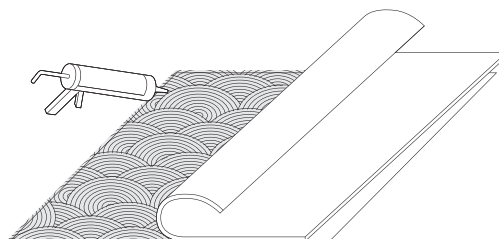
●目皿ベースを使用する場合には、床シートの接着の前にあんから用目皿ベースの取り付けを行ってください。あんから用目皿ベースと床およびシートの両面に接着剤を塗布し、排水口に取り付けてください。この際、すでに貼ってあるマスキングを目印に位置調整を行ってください。
あんから用目皿ベースはシート接着後には取り付けできないので注意してください。

2-3. 床面への接着剤塗布

①接着剤の準備　※接着作業の際は換気を充分に行ってください。

●ノズルの先端をカットして、カートリッジガンにセットします。

②床全面に接着剤を塗布する（標準塗布量：400g/m^2）

●付属のくし目ゴテを使用してください。
●0.5坪の床面積で接着剤1.5本が使用量の目安です。
●下地の状態（目地が深いなど）によっては接着剤の使用量が多くなることがあります。
●タイルの目地に接着剤を埋め込むように波型にくし目を立てながら塗布してください。
●壁際や排水溝廻りなど塗布不足に注意してください。

⚠注意 ●接着剤を床面に隙間なく塗布したか、確認を行ってください。塗布不足は、床の浮きや剥がれなどの原因になります。

2-4. 貼り付け可能時間の厳守

●接着剤には、オープンタイムが必要ありません。塗布後はすみやかに貼り付け作業を行ってください。
●接着剤の貼り付け可能時間は接着剤塗布後約20分（23℃条件下）です。

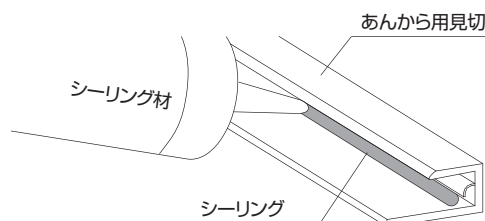
⚠注意 ●低温時には硬化が著しく遅れます。5℃の以下の環境では施工を行わないでください。
●塗布後すぐに接着剤の硬化が始まります。すみやかに貼り付け作業を行ってください。（貼り付け可能時間は塗布後20分です。）

2-5. 床面への圧着

①床シートを接着する

●床シートを接着する際は、シート外周部と壁面部（浴槽）および排水溝部に所定の隙間があることを確認してください。

②あんから用見切・あんから用小口隠し見切R取り付け（あんからのみ）

●シートを圧着する前に見切材の取り付けを行います。
シート端部をめくり、取り付けを行う部分の床側に接着剤を線状に塗布してください。
●あんから用見切は右図の位置にシーリング材を充填し、シートにくわえ込ませ取り付けを行ってください。
●あんから用小口隠し見切Rは床およびシートとの接着面の両面に接着剤を塗布してください。

■施工手順-3

③床シートを圧着する

●床施工用のローラーもしくは角材にタオルを巻き付けた圧着棒で作業してください。中央部分から壁に向かって、空気を押し出すように圧着します。圧着が不充分の場合、くし目がつぶれず接着不良につながります。充分に圧着するように、注意してください。

⚠注意 ●床シートと壁面(浴槽)および排水溝部等に所定の隙間をあけているか確認してください。
●圧着不足がないか確認してください。見切部分もしっかり圧着してください。
●接着剤がシート表面や床面以外に付着した際にはすみやかに拭き取ってください。硬化後にはとれません。

2-6. シーリング処理

壁際や排水口廻りに接着剤を充填し、隙間の処理を行ってください。
床のみの施工の場合にはこの際、シーリング材も施工してください。
(接着剤とシーリング材を2重にシーリングします)

①充填部を確認する

●充填部にゴミやホコリがないか確認してください。

②マスキングテープを貼る

●シートと壁(浴槽)および部材にマスキングを行ってください。シートには凹凸がありますのでしっかり圧着してください。

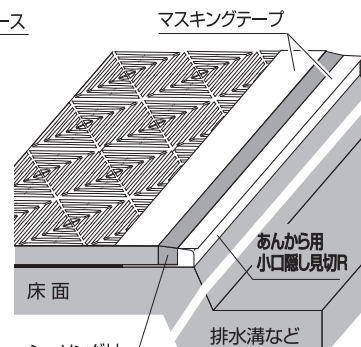
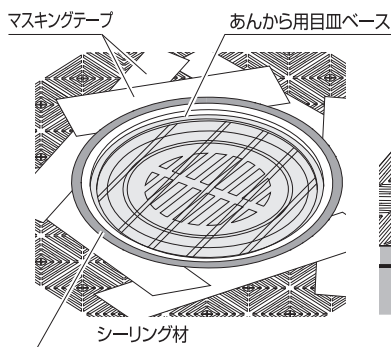
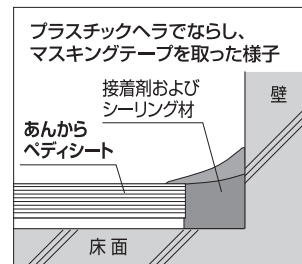
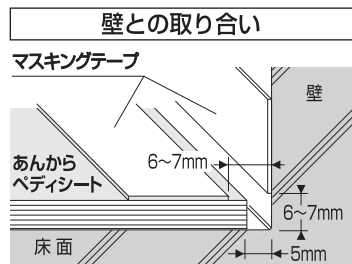
③接着剤を充填する

●気泡が入らないように目地の底部から入念に充填します。

④充填部を平滑に仕上げる

●充填後、速やかにプラスチックヘラで平滑に仕上げます。
●気泡が入り込み、ヘコミが発生した場合には直ちに作業を中止し、その部分に接着剤を多めに充填し、再度ヘラで仕上げます。

⑤マスキングテープを除去する

●④の仕上げ後、直ちにマスキングテープを取り除きます。
●マスキングテープに付いた接着剤で床面を汚さないように注意してください。

⚠注意 ●この接着剤充填の作業による仕上げの良否で、全体の仕上がりが大きく変わります。丁寧にかつ綺麗に仕上げてください。
●シーリングは接着剤とシーリング材を使用して2重に行ってください。
●別途シーリング材を用意する場合には防カビ剤入り変成シリコーン系のシーリング材を使用してください。

3 床面の養生

接着剤が硬化するまで養生してください。(24時間以上)床先行で施工を行うため、壁面施工も行う場合には床の汚れや傷つきが懸念されます。床面は確実に養生を行ってください。

床面養生後に、壁面・天井面の施工を行ってください。

●壁面・天井面の施工については浴室リフォーム工法用専用接着剤・テープセットRに同梱の施工説明書をご確認ください。
●壁面部材と床シートの取り合いについては本施工説明書の参考納まり図をご確認ください。
●部材と床シートの取り合い部分はシーリング材にてシーリング処理を行ってください。

接着剤が硬化するまで養生してください(24時間)。
施工確認後、取扱説明書を必ず施主様にお渡しください。

フクビ化学工業株式会社

本社/福井市三十八社町33の66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585
東 京☎(03)5742-6301 大 阪☎(06)6386-6950 名古屋☎(052)855-2332

北海道☎(011)896-7500 盛 岡☎(019)654-7511 仙 台☎(022)287-3471
東関東☎(029)841-7611 宇都宮☎(028)636-3521 北関東☎(048)661-0400
千 葉☎(043)247-3651 西東京☎(042)529-3911 神奈川☎(045)470-1050
新 潟☎(025)241-7832 北 陸☎(0776)38-8010 静 岡☎(054)288-3600
京 都☎(075)662-2315 岡 山☎(086)232-0601 広 島☎(082)246-7211
高 松☎(087)822-2301 福 岡☎(092)471-5800 鹿児島☎(099)259-0220
沖 縄☎090-1943-2112

http://www.fukuvi.co.jp

ET032 2015.10.改 Ⓣ